

### ◆ムラーノワールド



イタリア・ベネチアの北東に位置するムラーノ島で作られるベネチアンガラス製品を販売する。

ベネチアンガラスは、さまざまな色や模様の棒ガラスを輪切りにして組み合わせる「ムリーネ技法」が代表的で、繊細で緻密な美しさが魅力だ。

店には、現地の約10の工房から買い付けた皿やグラス、アクセサリーなど約300点が並ぶ。中でも文字盤周りを色とりどりの模様で彩った時計はファッションのアクセントにもぴったり。

仙台市青葉区栗生4-13-2 グリーンフィールド201 堂/10:00~18:00 (土曜は15:00まで) 休/日曜 TEL022-226-7764

### ◆五月飾りと甲冑

4月21日(土)~5月13日(日)9:00~16:30

角田館主・石川家に伝わる甲冑約10領に加え、五月飾りの再現などを公開する。節句にちなみ、かぶなどをモチーフに作られた古典折り紙や、地域のサークルによるつるし飾りも展示。無料の体験コーナーでは、精巧な紙製甲冑を着用したり、戦国武将の家紋の「切り紙」を作って記念に持ち帰ったりできる。期間中は、入り口に石川家の家紋・笹竜胆ののぼり旗を掲げ、来館者を迎える。入館無料。



会場・問/角田市郷土資料館 (角田市角田字17) TEL0224-62-2527 休/4月23日(月)、5月7日(月)

### ◆仙北鉄道登米線廃線から50年

「鉄道とくらし2—思い出の仙北鉄道—」

5月27日(日)まで 9:00~16:30 (入館は16:00まで)



50年前に廃線となった仙北鉄道登米線の思い出を振り返る企画展が開催されている。1921年に同線、23年に仙北鉄道築館線が開通し、ともに

地域の産物などを運搬「軽便っこ」と呼ばれ、およそ50年間、地域の交通の柱として親しまれた。開通から廃線までの歴史を写真などとともに紹介。模型や制服、当時の登米駅の掛け時計といった貴重な資料も展示している。同線を知る人も、触れたことのない人も楽しめる。観覧無料。

会場・問/登米市歴史博物館 (登米市迫町佐沼字内町63-20) TEL0220-21-5411 休/月曜 (祝日の場合は開館、翌火曜休み)

イベント & トピックス

## 鉄道マニアのシネマレビュー

### 大いなる旅路

1960年/監督:関川秀雄/脚本:新藤兼人/出演:三國連太郎、風見章子、南廣、高倉健(他)



発売元:東映ビデオ 販売元:東映 価格:2,800円(税抜き) DVD発売中

鉄道を描いた映画の出来は、鉄道会社の協力の度合いが大きく影響します。今回はJRの前身「日本国有鉄道」と、当時のフランス国鉄がそれぞれ全面協力した「大いなる旅路」「離愁」の2本を紹介いたします。(いきいきSUNクラブ会員/大澤武信)

舞台は岩手県の盛岡機関区。大正末期の山田線で実際に起きた事故を映画化したものです。吹雪をうけて進む下り機関車が雪崩を浴びて脱線するシーンは、さすが国鉄全面協力の撮影だけあって、迫力がスゴイ。

機関士の橋本(河野秋武)は機関助手の石見浩造(三國連太郎)に、脱線転落事故を知らせに行

けと命じ、こと切れます。親友の佐久間太吉(加藤嘉)に昇進試験で遅れをとり、ふてくされていた浩造でしたが、この事故を契機に鉄道の安全に一生をささげることになります。

浩造は結婚して3男1女を授かりますが、時代は満州事変を経て戦争の時代へ。映画は子どもたちの波瀾(はらん)万丈な運命とともに一人の鉄道員の一生を描いていきます。

### 離愁

1973年/監督:脚本:ピエール・グラニエロドフェール/出演:ジャン・リュック・ランティニヤン、ロミー・シュナイダー、モーリス・ピロー(他)



発売元:販売元:復刻シネマライブラリー 価格:3,800円(税抜き) DVD発売中

1940年にドイツがフランスに侵攻。ラジオの修理屋を営んでいたジュリアン(ジャンリュック・ランティニヤン)・トランティニヤン

一家も疎開することになり、幼い娘と妊娠中の妻と一緒に列車で逃れます。途中でアンナ(ロミー・シュナイダー)というユ

ダヤ人が乗り込んできて、ほとんど身動きできない車内で互いに寄り添うようにしながら旅を続けた二人。

それから3年、元の平凡な生活に戻ったジュリアンでしたが、ある日ナチの秘密警察から呼び出しを受け、そこでレジス

タンスの一員として捕えられたアンナと再会するのでした。村を出発した列車が走る北フランスの田園風景が素晴らしい。空撮などの走行シーンは、フランス国鉄全面協力のたまものと言ってもよいでしょう。